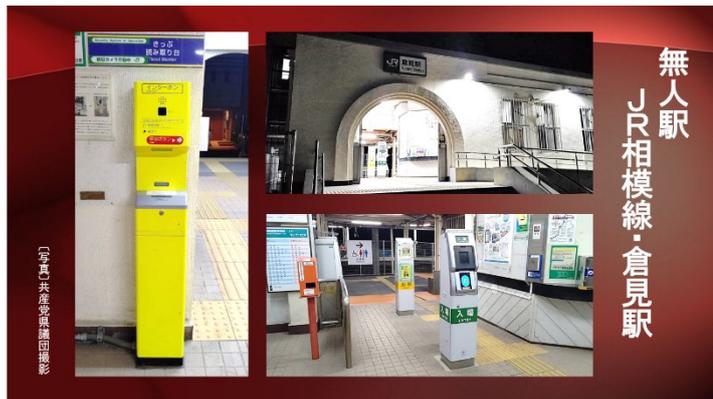


みどりの窓口も、急速に減らされています。障がい者減免による乗車券の販売、団体乗車券の販売、学生団体割引乗車券の販売など、独自の役割を担っています。9月、10月だけでも8駅が廃止され、12月中に廃止される駅は、尻手・菊名・根岸・逗子等4駅に及んでいます。

そこで知事に伺います。公共交通は、その役割に照らせば、採算性による合理化のみを押し進めるべきではありません。知事は、県民の安全で使い易い交通網を確保するという立場から、JR東日本に職員配置や、みどりの窓口の復活を強く求めるべきと考えますが、見解を伺います。

【黒岩知事】



(2) 横須賀線武蔵小杉駅等のホームドア設置について

横須賀線武蔵小杉駅は、著しい混雑が続いています。私たちは住民の皆さんとともに実態調査をし、署名を集め、粘り強くJR東日本との交渉を重ね、改善を図ってきました。

(ピーク時の臨時改札口の設置、駅反対側の改札口設置、下りホームの増設等)

残された課題がホームドアです。横須賀線は(設置の)具体的年次が示されていません。また、東海道線・横須賀線各駅の設置も遅れています。

そこで知事に伺います。安全性確保のために、横須賀線武蔵小杉駅のホームドア設置は待ったなしです。ホームドア設置に際し、財政的役割を担っている県として強く設置を促すことが必要ですが、見解を伺います。併せて東海道線・横須賀線の乗降客が多い駅への設置を急ぐよう要望すべきです。見解を伺います。

【黒岩知事】

